

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

第7回国際学術シンポジウム



しよく ち
蜀地の鉄
分岐するアイアンロード

日時：2014年11月15日（土）13:00 開会

場所：愛媛大学（城北キャンパス）南加記念ホール

東アジア古代鉄文化研究センターでは、中国の成都博物院と四川大学と「四川成都平原における古代鉄文化」のテーマのもと、漢代などの製鉄遺跡の発掘調査を共同で実施してきました。現在その成果をまとめる段階に入っています。近年、中央アジアや北アジアの製鉄遺跡の状況も明らかになりつつあるなか、蜀地の鉄に関する議論を興すことで、ユーラシアにおける鉄の伝播と中国大陆における鉄技術の成立について改めて考えてみたいと思います。さらに、四川では我々のプロジェクト以外でも、鉄に関する新しい発見が相次いでおり、今回はそれらの内容も初公開いたします。

13:00-13:10 挨拶

13:10-14:10 蔣 成（成都博物院副院長）「漢代の成都平原—最新の発掘成果から—」

14:10-15:10 馬 春燕（成都博物院研究員）「成都平原における製鉄遺跡の日中共同調査成果」

15:10-15:25 休憩

15:25-16:25 李 映福（四川大学教授）「中国西南地域の鉄と歴史」

16:25-16:55 村上恭通（愛媛大学教授）「中国の鉄文化発達史と西南地域」

16:55-17:10 休憩

17:10-18:00 討論 コメント 渡部 武（東海大学名誉教授）

お問い合わせ先

愛媛大学 東アジア古代鉄文化研究センター
〒790-8577 松山市文京町3番 HP: <http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/>
Tel/Fax: 089-927-8391 Email: kotetsuAIC@gmail.com

入場無料・申込み不要
通訳あり

主催：愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター 成都博物院 四川大学